

食に関する指導1・2年



1月16日(金)4時間目に栄養教諭豊島沙貴先生による「食に関する指導」がありました。今回は、1・2年生を対象に、食の大切さについて学習しました。給食センターでは、毎日3000食を20人で作っており、衛生管理を徹底したり、美味しい給食になるように工夫したりしていることがわかりました。また、農家さんや漁師さん、荷物を運んでくださる方や調理員さんなどたくさんの方々が関わって、自分たちのもとに給食が届けられていることを知ることができました。野菜や魚・肉など全ての命をいただくことに感謝し、「いただきます。」とあいさつすることや食事を作る人が走り回って材料を揃え、手を掛けてくれたことに感謝し、「ご馳走様」とあいさつすることなど食事のときに使うあいさつの意味も学ぶことができました。

これからは、感謝の気持ちを忘れずに残さず食べることを常に心掛け、美味しく食事ができるようにしていきたいと思います。ちなみにこの日の給食は、完食でした。早速、授業での学びが反映されたのかなとうれしい気持ちになりました。



食缶に注ぎ分ける柄杓の大きさに驚いていました。1杯で約10人分入るそうです。



